

# 筑波大学日本文学会会報

第2号

昭和52年12月

一周年を迎えて	伊藤 博	一
日本文学会だより		二
研究室だより		四
会員研究業績		五
会員住所録		七

## 一周年を迎えて

伊藤 博

東京教育大学の貴重な遺産を存続しながら、ここ筑波に、新日本文学の風をうちたてたいものと、関係者一同相寄って、筑波大学日本文学会を設立してから、ちょうど一年がたちました。この間、会員の数も一段と増し、全体の研究会や各種研究会なども着実に進められたことは、慶賀にたえません。

さる九月二十四日（土）、全国から先輩各位を迎えて、筑波大学国語国文学会がめでたく設立されました（会長中田祝夫教授）。この大会で、筑波大学日本文学会の存在と活動状況が報告されました。これで、日本文学会は、学外に対しても大きく一步を開始したわけです。一方に存在する筑波大学国語学談話会と力をあわせて、年一回の国語国文学会の総会が実りあるものとなるよう、日本文学会会員一同、日常の研究を重ねたいものと思えます。また。これを機に、先輩各位の御支援をいただければ幸いです。

なお、待望の人文社会学系研究棟が完成し、十月十八日（水）、日本文学教授陣は、六階A棟に居を構えました。六階には、一室に国語国文関係図書が備えられることになりました。ともに詳細は別途報告のとおりでありますので、遠慮なくご利用ください。会員のご健勝を祈ります。

昭和五十二年十二月十一日